

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
210	川崎市立川崎中学校	今達也

学校教育目標	今年度の重点目標
「自ら学び、自ら考え、自ら行動できる生徒を育てる」 ○主体的に学び、公正な判断力をもつ生徒 ○思いやりがあり、感動を知る生徒 ○心身ともに健やかで、たくましく生きる生徒	・認め合う心、高め合う心を育てる ・清掃活動へ意欲的に取り組む ・わかる喜び、学ぶ楽しさを求める ・配付物を保護者に渡して説明する

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 【心を耕す教育】 生徒指導、生徒理解 ・豊かな心の育成 ・人権尊重教育の推進	・自ら進んであいさつできるよう呼びかけ、朝のあいさつ運動を継続して行う。 ・多文化共生教育の視点から、学校生活における様々なアクティビティを通して、認め合う心、高め合う心を育てる。	・委員会活動を中心に、朝のあいさつ運動を年間通して行った。声を出し、会釈をしてあいさつできた生徒が増えた。 ・道徳の授業を計画的に実施し、道徳的判断力の育成に努めた。 ・「認め合う心、高め合う心」を行事の際に明示し、他者とともに支え合う意識を高めることができた。	・あいさつを含め、学校生活の約束やルールについて、生徒の意見を取り入れ、具体的に変更した。 ・学級活動、道徳等の学習を通して、自らの成長や課題を見出せるような授業を展開する。 ・引き続き、人権尊重を明確に打ち出し、様々な活動を通して自他の良さに気づき、認め合う心、高め合う心を育てる。教職員は研修等により研鑽を重ね、人権尊重教育の指導方法のあり方を探究する。
2 【健康を尊ぶ教育】 健康・安全教育 ・健康な体の育成 ・安全な学校生活を送る教育の推進	・心身の健全な発達のための望ましい生活習慣の確立を推進する。 ・生徒が心身ともに安全・安心に過ごせる学校づくりを推進する。 ・毎日の清掃活動、年1回の地域清掃に自ら取り組む態度を養う。	・外部講師を招聘し、飲酒、薬物、性教育等の授業を行い、知識や理解を深めた。 ・各行事や周年行事の際に清掃活動を行い、環境整備が大切であるという意識を高めることができた。 ・地域等の協力を得て、地域清掃を行い、社会に貢献することの意義を学んだ。	・外部講師による熱中症、飲酒、喫煙、性教育についての講習会を継続して行うとともに、食育に関する学習について校医による学習の機会を設定する。 ・環境美化に関する意識を高め、清掃活動への積極的な取り組みを継続させていく。 ・地域清掃に代表生徒が参加した。PTA、地域等の意見を聞きながら、継続して協働していけるものにする。
3 【学力を高める教育】 学習指導 ・学力の向上 ・基礎・基本を大切にされた教育の推進	・学習指導要領に基づいた指導内容・方法の充実を図る。 ・観点別評価と評定方法を具体的に示した指導を心がける。 ・基礎・基本となる力の定着をめざし、学ぶ楽しさやわかる喜びをもたせるように努める。	・学習指導要領に基づき、教材研究を行い、わかる授業の展開に努めた。 ・観点別評価の理解は得られたが、継続していく必要がある。 ・定期的に放課後学習会を行い、基礎・基本となる学力の向上を図った。	・わかる授業の実践に努め、GIGA端末をさらに活用し、個別最適な学びにつなげていく。 ・観点別評価と評価評定については、観点別評価と評定方法について、経験の浅い教員が多いため、適宜周知と理解を図る必要がある。 ・放課後学習会については、生徒の学習意欲や課題意識に応じて、より効果的な内容となるよう検討していく。
4 【情報活用力を高める教育】 情報教育 ・GIGAスクール構想の推進 ・課題解決に向け探究力を高める教育の推進	・各教科の授業において、GIGA端末を効果的に用いた授業実践を目指す。 ・生徒たちが正しく情報を活用する力を育む教育を推進する。	・GIGAスクール構想協力推進校となることで、定期的に教員全員がGIGA端末を効果的に活用する授業を研究・実践し、年間を通して担当指導主事から具体的な助言・指導をいただいた。 ・日頃からSNS等の使い方の指導を実施するとともに、警察から講師を招き、具体的な事例を含めて指導していただくサイバー教室を実施し、情報モラルの育成を図った。	・GIGAスクール構想協力校を来年度も継続し、GIGA端末をより効果的に授業で活用する機会を設定していく。 ・探究的な学習をどのように取り入れていくかを各教科で検討し、生徒が自ら問いを立て、情報の収集・整理・分析を通じて課題解決を図る学習の充実に取り組む。 ・インターネットやSNSの使い方について、情報の適切な扱い方や情報モラルについて引き続き指導を継続していく。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の中で、授業見学をした。生徒たちは落ち着いた雰囲気、授業を真面目に受けている様子である。かつての授業とは全然違っている。特に英語。教育課程の変化を実感できた。 ・外国籍の生徒が多い。多様性の中で、生徒みんなが安心して学校生活を送ってほしい。 ・GIGA端末で個々の課題に対する問題ができる。持ち帰りを推進してほしい。 ・他者への思いやりを教育目標にあげている。そのとおりで、他者への思いやりを持てる生徒が育てることがもっとも重要である。 ・地域や保護者が学校運営に参加できる会があり、とてもよい。長く続くとうい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は生徒中心に生活のルールなどを見直す機会が複数回あり、生徒が中心となって考え、改善していく学校として進歩したと感じている。 ・PTAやPTAO会、教育後援会、同窓会など、多くの関係者に学校を支えていただくことで、「地域の中の学校づくり、開かれた学校づくり」が推進できたと考える。 ・引き続き、認め合う心、高め合う心の醸成を図る。また、生徒理解に基づく生徒指導を重視し、教育相談の充実を図りながら不登校の未然防止や教室復帰を組織的に進めていく。 ・わかる授業に結び付くGIGA端末の活用の実践により基礎・基本の定着を来年度も継続していく。